

蘇州語の音調

原 瀬 隆 司

On Tones in the Suzhou Dialect

HARASE Takashi

目次

- 0 はじめに
- 1 連讀変調（舒声から始まる単語・連語）
- 2 連讀変調（入声から始まる単語・連語）
- 3 文の連讀変調
- 4 まとめ

0 はじめに

小稿は蘇州語の音調について記述したものである¹⁾。蘇州語の音調は北方語とは異なり、単語を構成する単字の音調は、文中に於ける音調が異なるといった特徴がある。

本稿では単語・連語の音調を決定する文字間の連讀変調をいくつか記述し、またそれらの単語を含む文での連讀変調を検討し、連讀変調パターンの類型を検討した。

なお検討するにあたり、『普通語対照上海語・蘇州語』を参照した。また、実際の音調については、次のお二人の蘇州語に依った。

周忠民氏 女性 1955年生まれ、蘇州人（ご両親とも蘇州人、1992年来日）

趙 莉氏 女性 1973年生まれ 蘇州人（無錫に近い滄墅関鎮の生まれ。父親は山東人、母親は蘇州人、共に蘇州在住、）

単語・連語の連讀変調は、広用式と窄用式に分けられる。その区別は、連讀する際に音節間に短い停頓が入るかどうかによる。広用式は用いられる範囲が広く、単語に限定されことなく意味まとまりが強い連語にも用いられる。窄用式は用いられる範囲が狭く、主に文法構造を有するものに用いられる。²⁾

本稿では、二音節・三音節・四音節の広用式の連讀変調を検討の対象としており、窄用式については実際の文中で用いられる時、脚注で説明を加えるにとどめた。

1 単語・連語の連読変調とその類型（舒声）

1-1 二音節単語の連読変調

二音節単語・連語の変調パターンは、第1音節が舒声の陰調の場合、3パターン（A、B、Cタイプ）がみられる。陽調の場合は、2パターン（D、Eタイプ）がみられる。

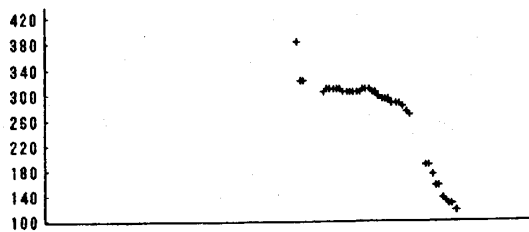
以下の表1を見られたい。³⁾

表1

1) 舒声・陰調

タイプ 調値・音調 □（第1音節）+□（第2音節）の組み合わせ

A 4 4 2 1 (2 2)



例 聪明

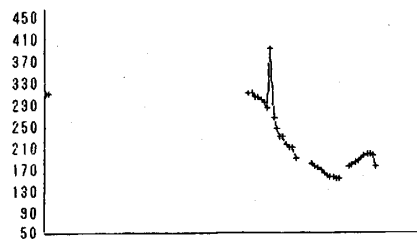
陰平①+①③⑤②⑥ ⑦⑧

陰上③+①③⑤②⑥ ⑦⑧

陰去⑤+①③⑤②⑥ ⑦⑧

陽去⑥+①③⑤⑥

B 5 2 3 4 (4 4)

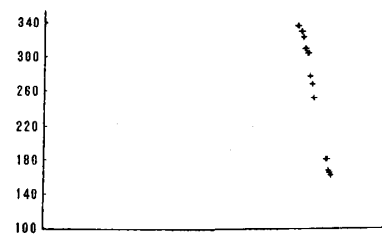


例 古文

陰上③+①③⑤②⑥ ⑦⑧

陰去⑤+①③⑤②⑥ ⑦⑧

C 5 2 2 1 (2 2)



例 顾问

陰上③+①③⑤②⑥ ⑦⑧

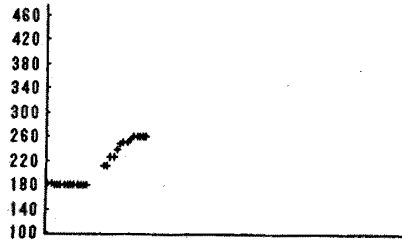
陰去⑤+⑤⑥

2) 舒声・陽調

タイプ 調値・音調

□+□の組み合わせ

D 2 2 4 4 (4 4)

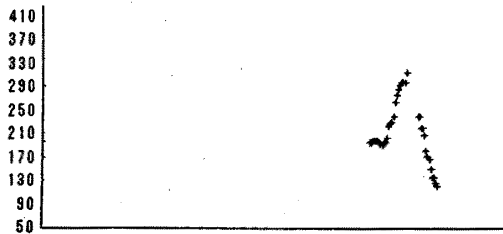


陽平②+①③⑤②⑥ ⑦⑧

陽去⑥+①③⑤②⑥ ⑦⑧

例 名医

E 2 3 2 1 (2 2)



陽平②+①③⑤②⑥ ⑦⑧

陽去⑥+①③⑤②⑥ ⑦⑧

例 两斤

この表から蘇州語では入声以外では、北方語（軽声を除き、全部で16タイプ）とは異なり、二音節単語・連語には音調のパターンが5つのタイプしか現れないことがわかる。

また、第1音節が陰平調から始まる単語・連語はAタイプしか現れない。すなわち、陰平調から始まる単語・連語はAタイプの一つの変調しかもたないのである。陰去声から始まる単語・連語はAタイプとBタイプの二つの変調パターンがある。上声から始まる単語・連語はA、B、Cの3つの変調パターンをもつ。そして、Cタイプの変調パターンは上声から始まる単語・連語が大半を占めるという特徴がある。

陽調では、陽平・陽去声は共にDタイプか或いはEタイプ of 2つ変調するパターンをもつ。今これを表に表すと以下のようになる。

表 2

第1音節	タイプ	調値
陰平	A	4 4 2 1
陰去	A	4 4 2 1
	B	5 2 3 4
上	A	4 4 2 1

	B	5 2 3 4
	C	5 2 2 1
陽平	D	2 2 4 4
	E	2 3 2 1
陽去	D	2 2 4 4
	E	2 3 2 1

1-2 三音節単語・連語の連讀変調

三音節単語・連語の変調パターンは、第1音節が舒声の陰調の場合、3パターン（A、B、Cタイプ）がみられる。陽調の場合は、2パターン（D、Eタイプ）がみられる。これは先に見た、二音節単語・連語と同じである。

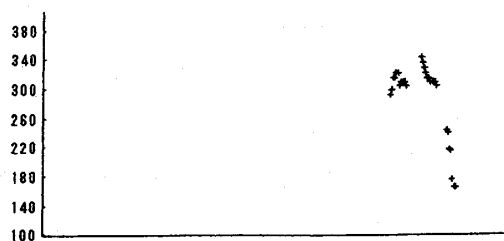
以下の表3を見られたい。

表3

1) 舒声・陰調

タイプ 調値・音調 □（第1音節）+□□の組み合わせ

A 4 4 4 4 2 1



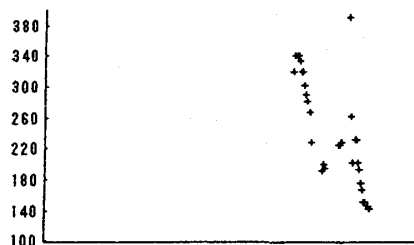
陰平①+□+□

陰上③+□+□

陰去⑤+□+□

例 灯芯绒

B 5 2 3 4 2 1

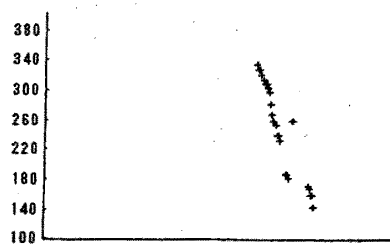


陰上③+□+□

陰去⑤+□+□

例 卷心菜

C 5 2 2 2 2 1

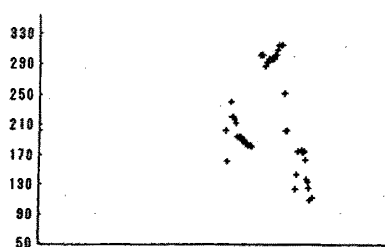


陰上③+□+□

例 写一写

2) 舒声・陽調

D 2 2 5 5 2 1

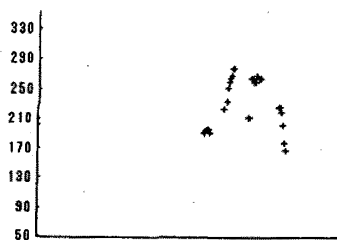


陽平②+□+□

陽去⑥+□+□

例 寻开心

E 2 3 3 3 2 1



陽去⑥+□+□

例 买仔点

三音節単語・連語では、二音節単語・連語と同様に音調パターンに5つのタイプがある。三音節単語・連語の音調は二音節単語・連語のうち低調で終了するものは、第1音節と第2音節をつなぐわたりの音調が第2音節目に加わる。また、高調で終了するものは、低調が第3音節目に更に加わるという、二音節単語・連語との密接な関係がみられるのである。

したがって、蘇州語は単語のレベルでは二音節単語・連語と三音節単語・連語に、上にみた5つのタイプが蘇州語の音調の基本的底流として認めることができる。

また、第1音節が陰平調から始まるものにはAタイプしか現れない。すなわち、陰平調から始まる単語はAタイプの一つの変調しかもたないのである。陰去声から始まるものはAタイプとBタイプの二つの変調パターンがある。上声から始まるものはA、B、Cの3つの変調パターンを

もつ。

陽調では、陽平声から始まる単語・連語はDタイプしかあらわれない。陽去声から始まる単語・連語はDタイプか或いはEタイプの2つ変調するパターンをもつ。今これを表に表すと以下のようになる。

表4

第1音節	タイプ	音値・音調
陰平	A	4 4 4 4 2 1
陰去	A	4 4 4 4 2 1
	B	5 2 3 4 2 1
上	A	4 4 4 4 2 1
	B	5 2 3 4 2 1
	C	5 2 2 2 2 1
陽平	D	2 2 5 5 2 1
陽去	D	2 2 5 5 2 1
	E	2 3 3 3 2 1

1-3 四音節単語・連語の連讀変調

四音節単語・連語の変調パターンは、第1音節が舒声の陰調の場合、2パターン（A、Bタイプ）がみられる。陽調の場合は、1パターン（Cタイプ）がみられる。

表5

1) 舒声・陰調

タイプ	調値	□（第1音節）+□□□の組み合わせ
A	4 4 4 4 3 3 2 1	陰平①+□+□+□ 陰上③+□+□+□ 陰去⑤+□+□+□ 陽去⑥+□+□+□
B	5 2 3 4 4 4 2 1	陰上③+□+□+□ 陰去⑤+□+□+□

2) 舒声・陽調

C	2 2 5 5 4 4 2 1	陽平②+□+□+□ 陽去⑥+□+□+□
---	-----------------	------------------------

四音節単語・連語では、音調パターンには3つのタイプがある。四音節単語・連語の音調は三音節単語連語のうち低調で終了するものは、第2音節と第4音節をつなぐわたりの音調が第3音節目に加わる。

したがって、蘇州語は単語・連語のレベルでは、二音節単語と三音節単語の5つのタイプがこの四音節単語の音調の基本的底流として認めることができる。

また、第1音節が陰平調から始まるものにはAタイプしか現れない。すなわち、陰平調から始まるものはAタイプの一つの変調しかもたないのである。上声と陰去声から始まるものはAタイプとBタイプの二つの変調パターンがある。

陽調では、陽平声と陽去声から始まる単語・連語はCタイプしかあらわれない。今これを表に表すと以下のようになる。

表6

第1音節	タイプ	調値
陰平	A	4 4 4 4 3 3 2 1
上	A	4 4 4 4 3 3 2 1
	B	5 2 3 4 4 4 2 1
陰去	A	4 4 4 4 3 3 2 1
	B	5 2 3 4 4 4 2 1
陽平	C	2 2 5 5 4 4 2 1
陽去	C	2 2 5 5 4 4 2 1

2 単語・連語の連讀変調とその類型（入声）

2-1 二音節単語の連讀変調

二音節単語の変調パターンは、第1音節が入声の陰調の場合、3パターン（1、2、3タイプ）がみられる。陽調の場合、2パターン（4、5タイプ）がみられる。

以下の表をみられたい。

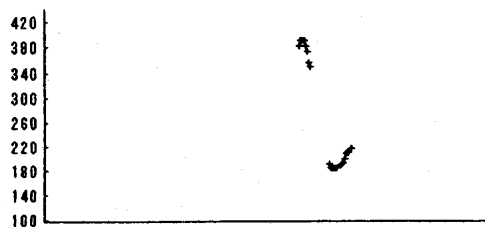
表 7

1) 入声・陰調

タイプ 調値・音調 □ (第 1 音節) + □ (第 2 音節) の組み合わせ

1 5 5 3 4 (5 5)

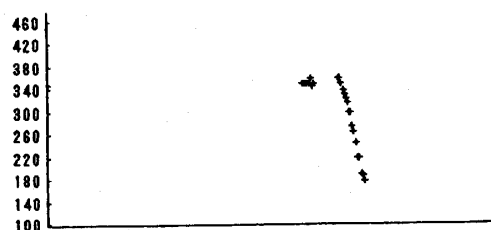
陰入⑦+①③⑤②⑥ ⑦⑧



例 指头

2 5 5 5 2

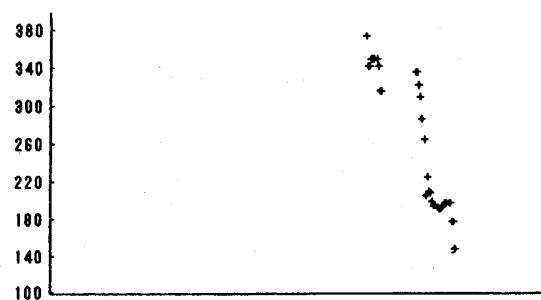
陰入⑦+③⑤⑥



例 得奖

3 5 5 4 1 2

陰入⑦+⑤⑥

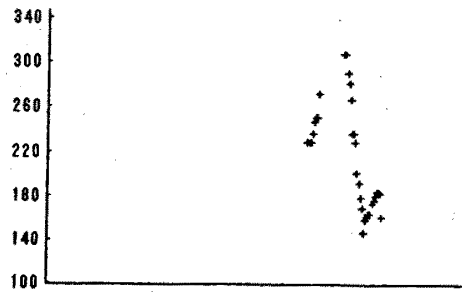


例 八卦

2) 入声・陽調

タイプ 調値・音調 □ (第1音節) + □ (第2音節) の組み合わせ

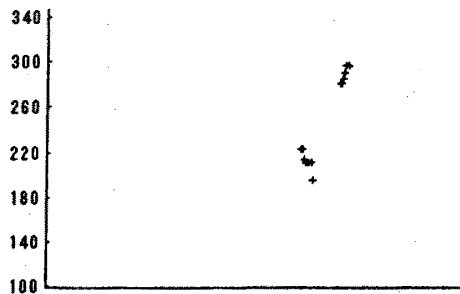
4 3 3 5 2 ⑦⑧ (5 5)



陽入⑧+①③⑤②⑥ ⑦⑧

例 集中

5 2 2 4 4 ⑦ (5 5)



陽入⑧+①③⑤②⑥ ⑦⑧

例 薊只

第1音節が陰入声から始まる単語・連語には1、2、3のタイプがあらわれるが、タイプ2は第2音節に上声、陰去声か陽去声が続く場合であり、タイプ1は第2音節に陰去声か陽去声が続く場合にあらわれ、タイプ1が優勢である。

陽調ではタイプ4、5の二つの変調パターンをもつ。

2-2 三音節単語・連語の連讀変調

三音節単語の変調パターンは、第1音節が入声の陰調の場合、4パターン(1、2、3、4タイプ)がみられる。陽調の場合、2パターン(5、6タイプ)がみられる。

以下の表をみられたい。

表 8

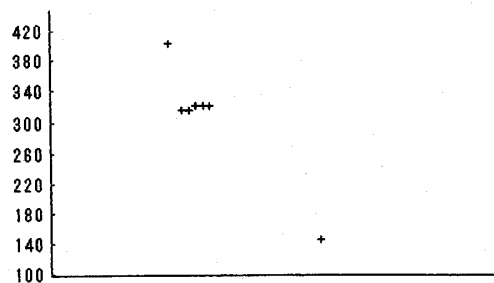
1) 入声・陰調

タイプ 調値・音調

□ (第 1 音節) + □□ の組み合わせ

1 5 5 3 4 2 1

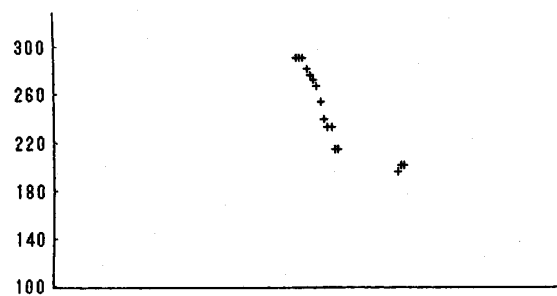
陰入⑦ + ①③⑤②⑥ + □



例 屋里向

2 5 5 5 2 3 4

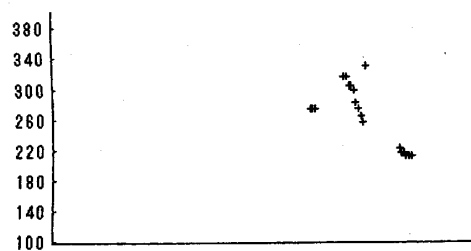
陰入⑦ + ③⑤⑥ + □



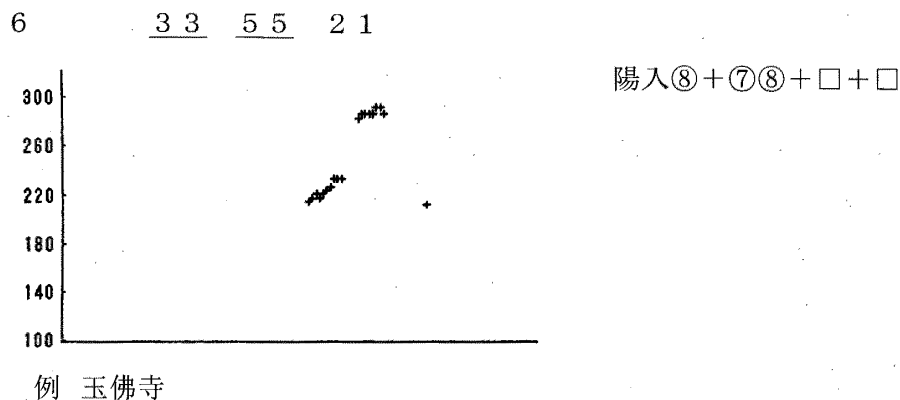
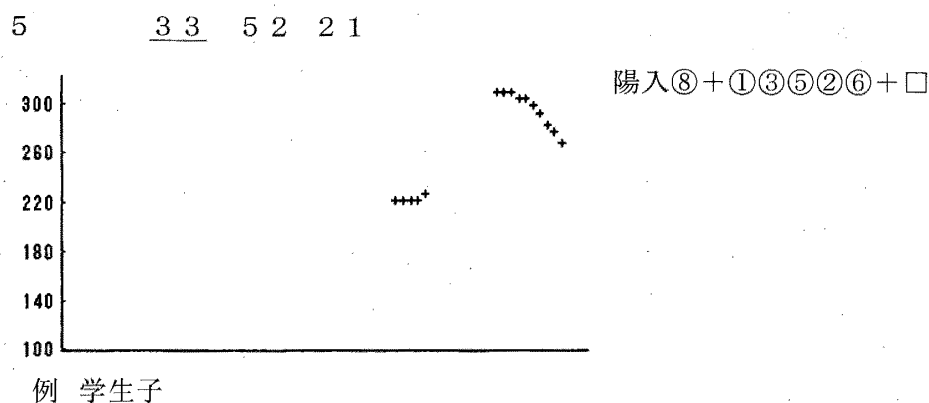
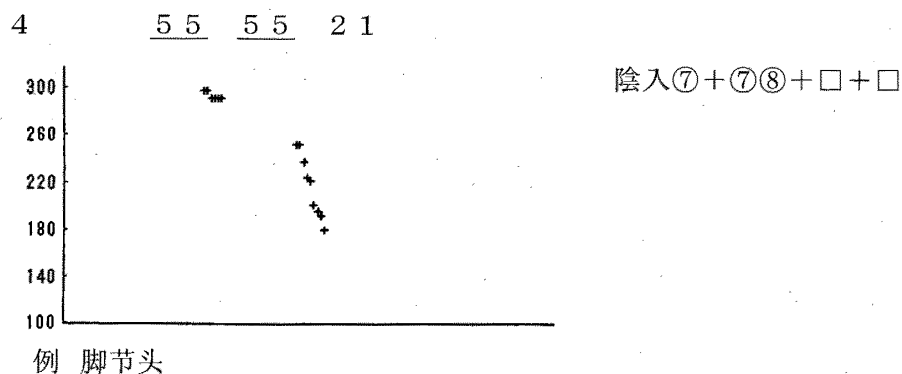
例 一夜天

3 5 5 5 2 2 1

陰入⑦ + ③⑤⑥ + □



例 勿好哉



陰入声の場合、第2音節が舒声であるものはタイプ1が優勢であるが、第2音節が上声・陰去声・陽去声のものはそれぞれタイプ2とタイプ3もあらわれる。第2音節が入声の時、タイプ4に変調する。

陽調は第2音節が舒声の場合、タイプ5に変調し、入声ならばタイプ6に変調する。

三音節単語・連語の連讀変調は1-2で見たように、次のような二音節の連讀変調との音調における密接な関係がみられる。すなわち、第2音節目が舒声の場合、高調で終了するものは低調が第3音節目に更に加わる。下降調で終了するものは、1) 更に低調が加わるか、2) 更に上昇調が加わる。第2音節が入声の場合は、低調が加わる。

2-3 四音節単語の連讀変調

四音節単語の変調パターンは、第1音節が入声の陰調の場合、2パターン（1、2タイプ）がみられる。陽調の場合、3パターン（3、4、5タイプ）がみられる。

以下の表をみられたい。

表9

1) 入声・陰調

タイプ	調値	□（第1音節）+□□の組み合わせ
1	<u>5 5</u> 3 4 4 4 2 1	陰入⑦+①③⑤②⑥+□+□
2	<u>5 5</u> <u>5 5</u> 4 4 2 1	陰入⑦+⑦⑧+□+□

2) 入声・陽調

3	<u>3 3</u> 5 2 3 3 2 1	陽入⑧+①③⑤②⑥+□+□
4	<u>2 2</u> 3 4 4 4 2 1	陽入⑧+①③⑤②⑥+□+□
5	<u>3 3</u> <u>5 5</u> 3 3 2 1	陽入⑧+⑦⑧+□+□

陰調から始まる単語・連語は第2音節が舒声の場合は、タイプ1に変調し、入声の場合はタイプ2に変調する。

陽調では第2音節が舒声の場合、タイプ3とタイプ4の二つの変調がみられ、入声の場合は、タイプ5に変調する。

また三音節単語・連語の変調パターンと比較すると、四音節の音調は三音節単語・連語の低調で終了するものの前の音節に高調か中平調かのわたりの音調が加わったものであることがわかる。（但しタイプ4のみは第2音節に上昇調のわたり音調が加わる。）

3 文における連讀変調

次に、実際の文のなかで連讀変調がどのように起きるかを例文をあげて検討する。

例文1

有一只小猢猻，走到井边浪李相，望见井里向有一只月亮，就哇啦哇啦喊起来哉：“勿好哉！勿好哉！月亮掉勒井里向哉！”

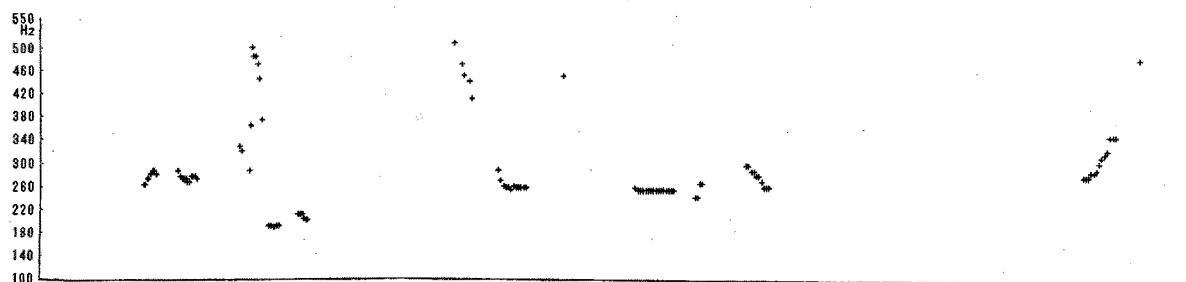
大猢猻听见仔，奔得来一看，也跟牢仔喊：“勿好哉！勿好哉！月亮掉勒井里向哉！”

< 猢猻捞月亮 > (p.344)

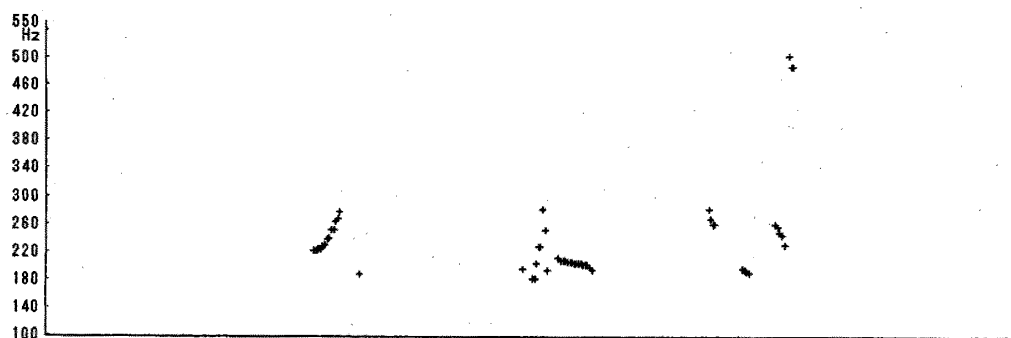
(北方語)

有个小猴子，走到井边玩儿，瞧见井里有一个月亮，就大叫：“糟啦！糟啦！月亮掉在井里啦！”
大猴子听到了，跑来一看，也跟着叫：糟啦！糟啦！月亮掉在井里啦！

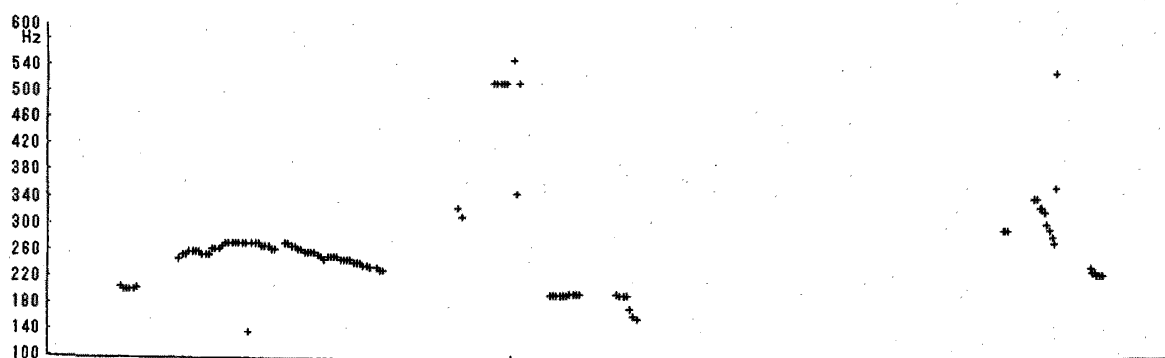
(繼) (2 広 1) (3 広 C) (2 広 C) (3 広 B) (2 広 D)
fiY iəʔ tsoʔ siæ uəʔ sə n, tsY t æ tsin piI lɒ bəʔsi ā,



(2 広 D) (2 広 B) (繼) (2 広 1) (2 広 D)
fi m ɒciI tsin li ɕi ā fiY iəʔtsoʔ fiŋəʔli ā,



(繼) (4 広 A) (4 広 B) (3 広 3)
zY u ɒl ɒ u ɒl ɒ hE tɕ i lE tsE : “fəʔh æ tsE !



(3 広 3)

fəʔ

(2 広 D)

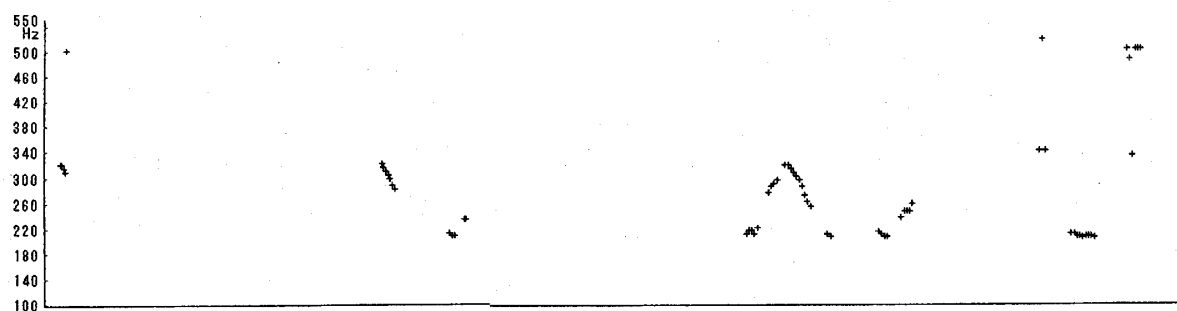
h æ tsE !

(2 広 5)

dəʔləʔ

(4 広 B)

tsin li ɕi ā tsE !”



(3 広 D)

dəu uəʔsən

(3 広 A)

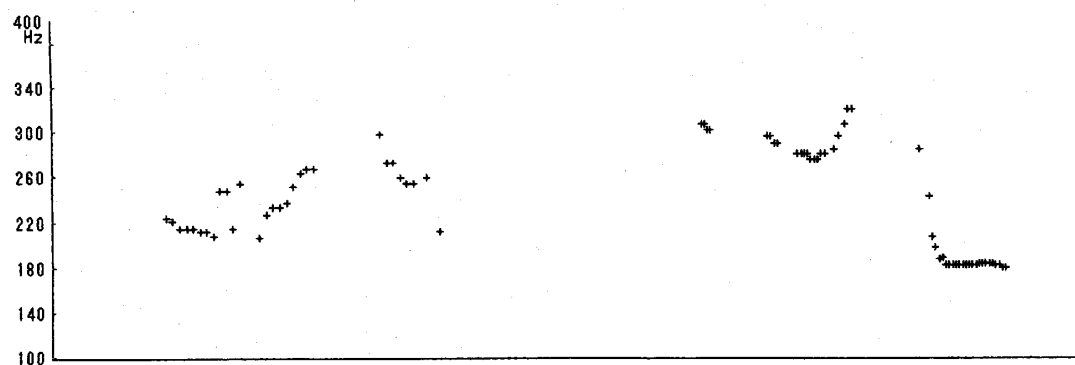
t 'in tɕil tsɿ,

(3 広 A)

bən təʔlE

(2 広 3)

iəʔ k 'ɕ,



(繼) (3 広 A)

fi ɒ k ən l ætsɿ

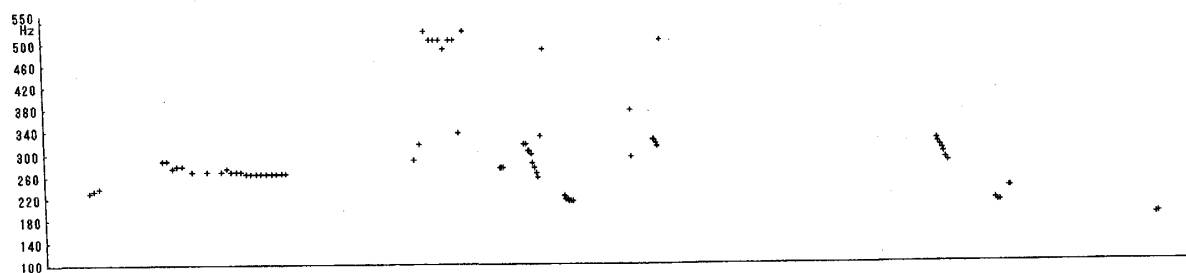
(終)

(3 広 3)

hE: “fəʔh æ tsE !

(3 広 3)

fəʔ h æ tsE !



(2 広D)

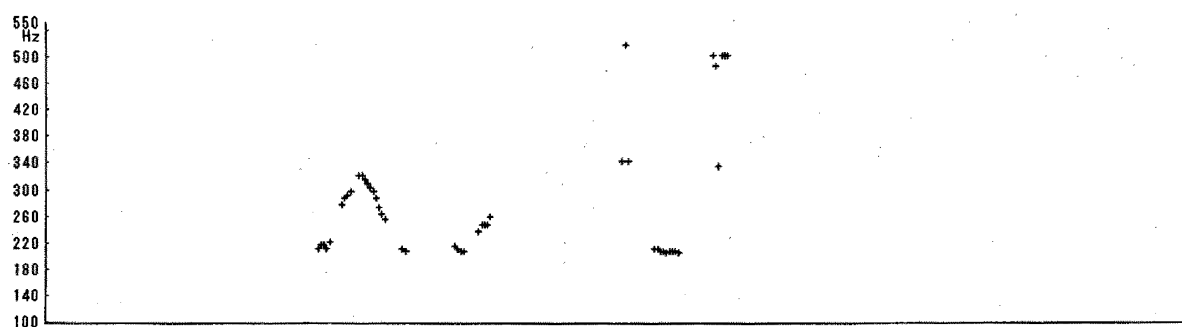
həpʔli ā

(2 広5)

dəpʔləpʔ

(4 広B)

tsin li ɕi ā tsE !”



例文 2

是佢阿姐个。(p.70)

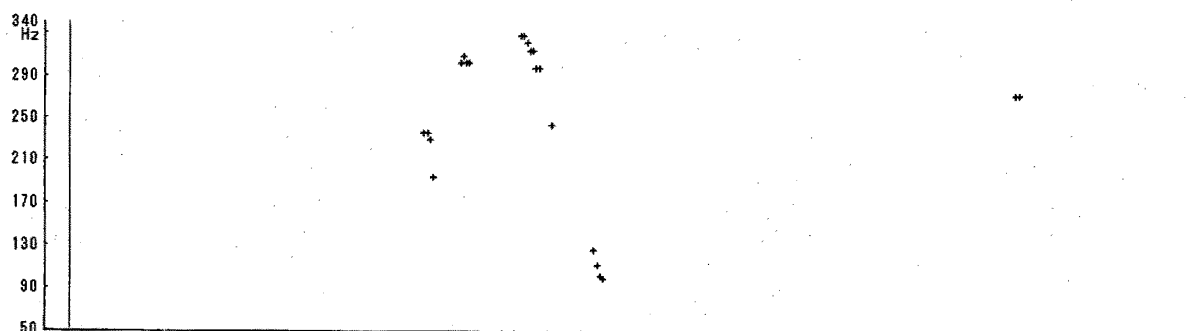
(是我姐姐的。)

(2 広D)

z ɿ ŋi

(3 広3)

aʔtsi ɒ kəpʔ



例文 3

明朝正好是礼拜日晩，佢到佢屋里来过生日吧。佢包饺子祝贺佢。(p.77)

(明天正好是星期日，你到我家来过生日吧。我们包饺子祝贺你。)

(2 広D)

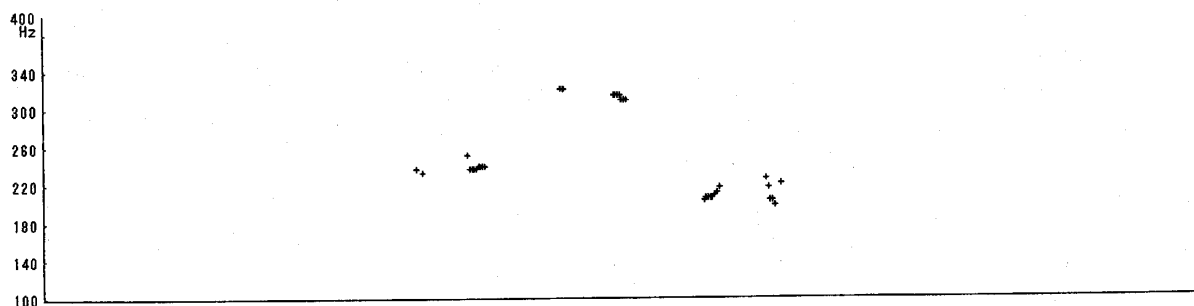
mən ts æ

(3 広A)

tsən h æ z ɿ

(4 広A)

lip v ɿi əʔ u æ ,



(継)

(継)

(継)

(3 広1)

(4 広A)

nE

t æ

ɿi

o ʔli

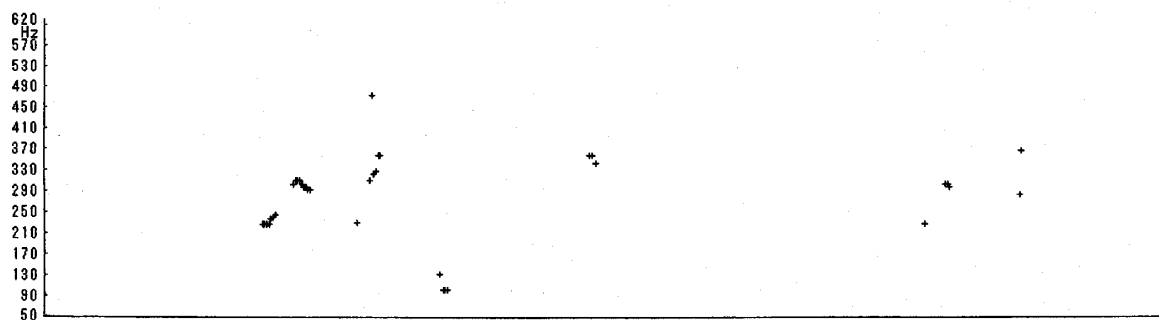
lE

kəu

sã ɿi

əʔ

b v.



(継)

(継)

(2 広B)

(2 広2)

(終)

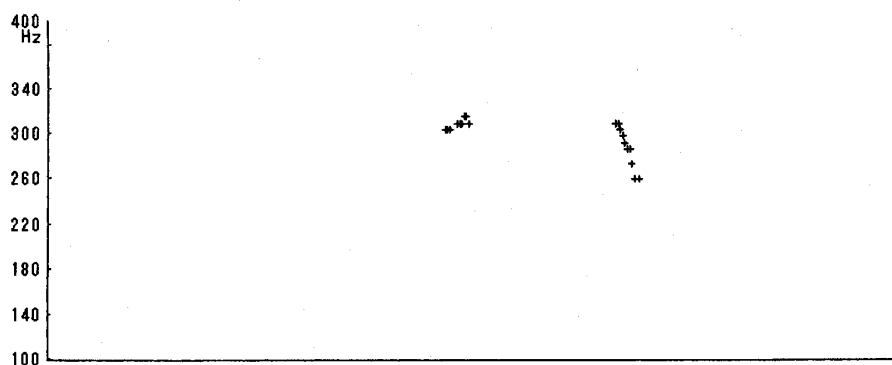
ɿi

p æ

ʈɿ æ tsɿ

tso ʔ əu

nE .



上の3つの例文は『上海語・蘇州語』である。例文のうしろの()内は引用した頁を指す。蘇州語例文の下()で示したは共通語文である。例文の音声表記の上に示したのは、先に見てきた各音節のいくつかの組み合わせの連讀変調タイプの略語である。

(2 広B) とは二音節の組み合わせで連讀変調をもつ語・連語のBタイプのものであることを指

している。(継)は発話のなかでうしろに音節が続く時の声調変化するものを示す。

これらの例文にあらわれるように、広用式の音節の組み合わせをもつものが圧倒的に多いことである。これは蘇州語が先に見た固定したパターンの中での発話がなされており、蘇州語の音調は一定のリズムをもってなされているとすることができる。

4 まとめ

1) 蘇州語の音調は一定のタイプに分けられる連讀変調をもつことに因り、発話が一定のリズムをもってなされる。

2) 連讀変調のパターンは、二音節の組み合わせでは、舒声では5つ、入声では5つある。三音節の組み合わせでは、舒声で5つ、入声では6つある。四音節の組み合わせでは、舒声で3つ、入声は5つある。そして、音調は二音節と三音節が基礎となっており、同時に互いにパターン上は密接に関係している。

3) これらの連讀変調は各組み合わせの、第一音節がタイプを決定する大きな要素となっている。

以上

1) 本文中の図に示した基本周波数曲線は、音声分析ソフト SUGI Speech Analyzer によって得られたデータである。

2) 宮田一郎他『上海語・蘇州語』1983 光生館 p.29に依る。

3) 音調を表した左の数字はヘルツを指す。また、①②③⑤⑥⑦⑧は調類を符号で表わしたもので、それぞれ陰調類の陰平声(①)、陰上声(③)、陰去声(⑤)、陰入声(⑦)と陽調類の陽平声(②)、陽去声(⑥)、陽入声(⑧)である。